



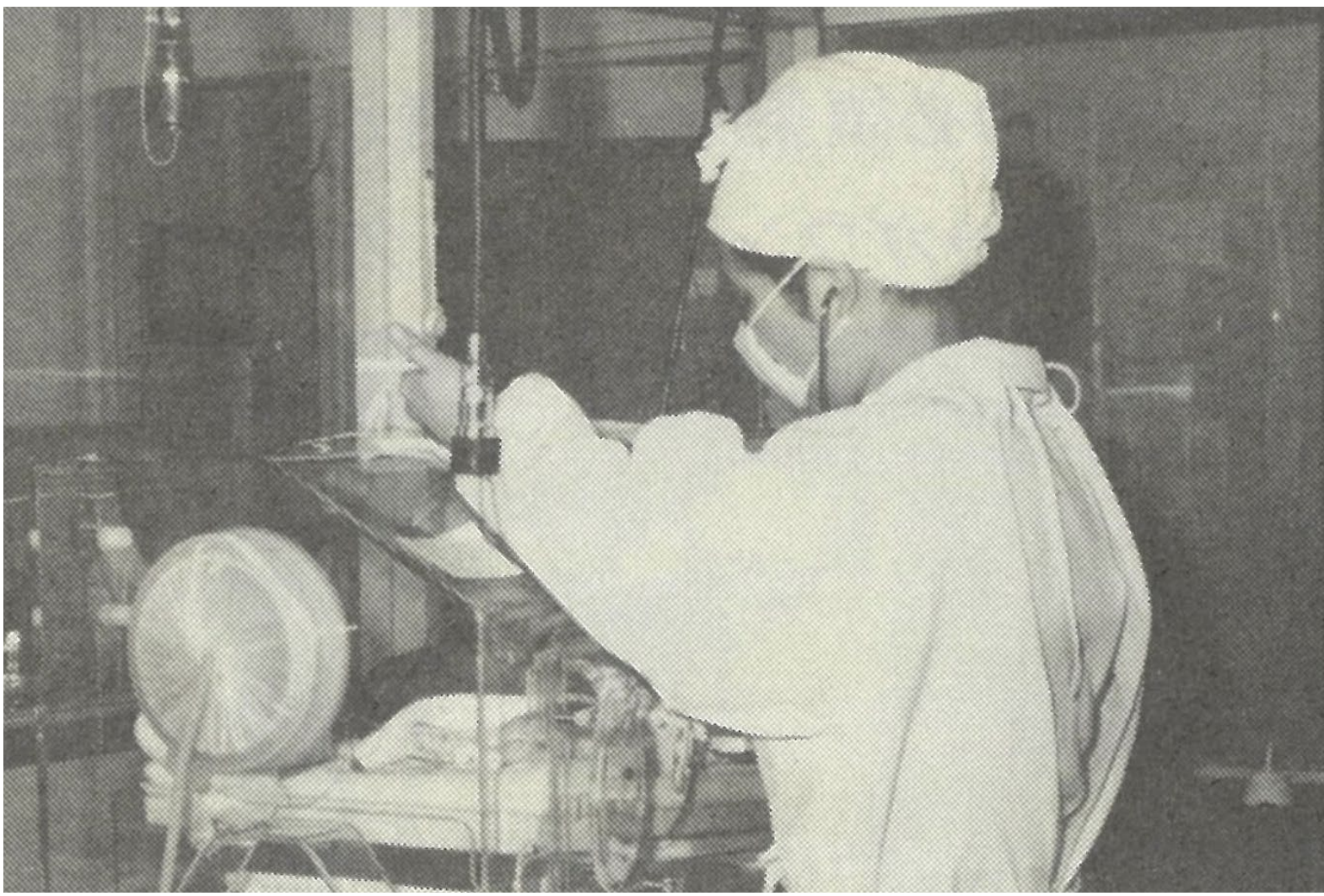
昭和35年(1960年)

未熟児センターを開設

～未熟児への対応を整備する～



開設時の記事でも、「入院費は半額補助 至れり尽くせりの施設」と補助制度について触れられた



▲病棟の一部を改装した開設当初の未熟児センター



▲未熟児センターは現在、本館4階に移転し、ベビーセンターに

昭和35年(1960)5月、病棟の一部を改築して未熟児室が設置されました。当時の福井県は未熟児の死亡率が高く、未熟児センターの開設は喜ばしい知らせとなりました。その頃、親が保健所に申請すると入院費の半額が補助される制度があり、当院はその利用も併せて呼びかけました。昭和44年(1969)に行った旧本館の竣工時、未熟児センターは専用のスペースを設ける形で移転。その後、平成16年(2004)に本館4階のベビーセンターへ移転し、現在に至ります。



昭和35年の出来事

- ・日本でカラーテレビの放送開始
- ・池田首相、所得倍增計画を発表
- ・チリ地震が発生し、日本でも津波による被害が発生
- ・安保闘争、日米安全保障条約が改定